

## オーナーblog 第17話 「目の前の対象を輝かせる！」（2024.4.18.）

塾の教育講座中止後、不思議に『神戸〇〇の〇』より100名対象で講演依頼があった。歴史ある全国展開施設で、住人代表の方々の熱意が伝わった。お題は、「健康寿命の延ばし方」「高齢者に多い病気と対策」である。健康概念には、“体”と“心”を思われる方が多い。しかし、“環境”がいかに影響するかは、テレビ番組でもあまり取りあげられていない。お話ししたいことは、「気候風土と社会性」や「日本の歴史を経時的に見たコミュニティの変遷と健康観」である。並の話ならする必要もないと思うが、施設のクリニックで非常勤もして、講演料も頂くのだから、自分勝手な話は禁物である。常識人を装いながら個性的で自分にしか話せない面白い時間を創造する準備を早めにしていく。一般論から始めて、“**目から鱗が落ちる**”切り口で、面白おかしく学べれば、その後の生活にも変化が生じるかも知れない。

実際私の患者さんは、健康な男の90歳、女の95歳以上が増えてきている。その年代に多い病態と治療法を理解した上、“**いくせい流**”の教育法で、患者が理解を深めて**行動変容**が生じているからである。

幼児が自転車に乗るとき、補助輪2つが1つになり無くなる過程を「成長」と呼んでいるのと“逆”で、杖をつき車いすを使い寝たきりになる「老化」を**受け入れる**ための意識改革として、5年前倒し教育をしている。**受け入れる**ことで、“今”自分にできることを努力する**姿勢**が強まっていく。**ライフ・ステージを理解**していることが、医療・介護者・教育者の必要条件であると考えている。